

島根県

豊富な先進事例から学ぶ DMO 運営勉強会を実施

支援概要

■支援の経緯

O市観光協会を中心として多様な事業者と連携し、観光振興を推進していく「O市版DMO」は来年度の本格的な活動開始を目指している。今回、観光事業関連の支援プロジェクトやDMO設立に関するコンサルテーションを行っている専門家のK氏を招き、DMO運営勉強会の開催を考えている。DMOの立ち上げ、運営にあたり、改めて事業の基本理解を深め、豊富な先進事例を学びながら、アドバイスをいただき、今後の活動のヒントや課題・問題点の洗い出しに繋がることを期待したい。

■専門家による具体的な支援内容

DMO立ち上げ関係者10名を集め勉強会を開催。「地域連携とDMO」のテーマで、国がDMOを推進する理由や地域商社とDMOの関係、インバウンドに関するデータ分析の注意点、観光関連アンケート収集に関する問題点、DMO(マーケティングを実施するコストセンター)とDMC(収益を求めるプロフィットセンター)との関係性とその利点を解説。青森県H市の郷土料理の戦略や北海道O市のフィールドカフェの実証実験等の様々な事例を提供した。

支援の効果

DMOの役割は単純な観光だけを考える組織では無いこと、DMOと地域商社が両輪となり地域の活性化を担うという内閣府の考え方、地域内の各機関の調整の難しさをメンバーが理解でき、取り組みに向けての一步となった。

O市単独のDMOについても、広域連携を視野に入れた連携や地理的ではなくテーマの連携もあることをアドバイスいただいたので、今後の運営の参考にしたい。



専門家の声

データ分析及びそれに伴うマーケティング等に関しては今回時間が少なかったのですが、概要しか説明できなかったが、機会があれば、実践的なマーケティングに関しても支援を行いたい。

団体の声

DMOの基本的な考え方について、整理、確認ができ、詳しい事例も知ることができた。DMOに関わる事業者にも情報を共有し、先進地事例等を参考にしながら、当市における計画づくりに活かしたい。今後、事業を組織し、展開していく上での関係団体との調整について、更に具体的に聞ければありがたい。